

## ヨハネの第二の手紙

「長老のわたしから、真実に愛している選ばれた婦人とその子たちへ。あなたがたを愛しているのは、わたしだけではなく、真理を知っている者はみなそうである。それは、わたしたちのうちにあり、また永遠に共にあるべき真理によるのである。

三父なる神および父の御子イエス・キリストから、恵みとあわれみと平安とが、真理と愛のうちにあって、わたしたちと共にあるように。

四あなたがたの子供たちのうちで、わたしたちが父から受けた戒めどおりに、真理のうちに歩いている者があるのを見て、わたしは非常に喜んでゐる。五婦人よ。ここにお願ひしたいことがある。それは、新しい戒めを書くわけではなく、初めから持っていた戒めなのであるが、わたしたちは、みんな互に愛し合おうではないか。六父の戒めどおりに歩くことが、すなわち、愛であり、あなた

がたが初めから聞いてきたとおりに愛のうちに歩くことが、すなわち、戒めなのである。七なぜなら、イエス・キリストが肉体をとってこられたことを告白しないで人を惑わす者が、多く世にはいつてきたからである。そういう者は、惑わす者であり、反キリストである。八よく注意して、わたしたちの働いて得た成果を失うことがなく、豊かな報いを受けられるようにしなさい。九すべてキリストの教をとおり過して、それにとどまらない者は、神を持っていないのである。その教にとどまってい

る者は、父を持ち、また御子をも持つ。一〇この教を持たずにあなたがたのところに来る者があれば、その人を家に入れることも、あいさつすることもしてはいけな

い。二そのような人にあいさつする者は、その悪い行いにあ

ずかることになるからである。

三あなたがたに書きおくことはたくさんあるが、紙と墨とで書くことはすまい。むしろ、あなたがたのところに行き、直接はなし合つて、共に喜びに満ちあふれたものである。一三選ばれたあなたの姉妹の子供たちが、あなたによりしく。